

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年 1月 29日

配布数

回収数 8

事業所名 アートチャイルドケアSEDスクール札幌桑園

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	割合（％）				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
						はい	どちらともいえない	いいえ	無回答		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	1	0	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%	・ぞうのへやを4人の場合2人でシェアしているが、お互いの声が聞こえて気が散ってしまうように思う。 ・コロナ禍では、運動スペースの使用を分けた。	若干の雑音があるのが通常の社会ではあるが、聴覚過敏の傾向にある児については優先的に個室を使うなどの配慮を行っている。
	2 職員の配置数は適切であるか	2	2	4	0	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	・利用児に対し少ない。 ・11月より新しく社員が採用されるため。 ・4セッション目まで勤務できる指導員が決まっているので、全指導員が見れていない子供もいる。 ・利用者の人数が一気に増え、プログラムの結果を記入する時間が取れない。定時に上がれなくなった。	週6日開校、利用者数53人、セッションの予約数で240～250。これに対して職員は、常勤3、非常勤3（④まで勤務できる者は1）。日によっては、1人の指導員が4セッションを担当するところもある。この状況を踏まえ、本社には非常勤職員の増員を引き続き要請していくとともに、プログラムや記録作成の効率化(時短)を図るなど業務の改善に努めていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%		概ね適切に配慮されていると考えている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%		概ね適切に配慮された環境・空間になっていると考えている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	3	0	0	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	・非常勤職員と目指す目標に対し考え方を共有できていない。参加していても意識の違いがある。 ・非常勤職員への伝達は常に課題。	札幌桑園は、週6日開校に伴ってシフト勤務となったため非常勤職員に限らず常勤職員についても常に情報共有等が課題となっている。そこは、これまでもカンファレンスのあり方、やり方の工夫をしてきたし、今後も複数担当制を検討するなど情報共有の効率化やカンファレンスの時短を図るなど業務改善に努めていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		適切に事業所評価を行い、把握した意向等も参考に、常に業務改善を心がけている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2	1	0	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	・会報なし。掲示はしているが。 ・HP等で公開している話を知らなかった。	児童発達支援及び放課後等デイサービスガイドラインに沿って適切に公開している。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	5	0	0	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	・今年度は各個人での参加で、事業所内で一斉に何か、というのではない。 ・コロナの影響で、今年度は研修に参加できていない。	コロナ感染予防の観点から全員が集まっての研修は行わなかった。その分、職員各自がリモートで行われる研修会等への参加などを奨励しており、実際に参加されている。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	1	0	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	・アセスメントツール（標準化されたもの）がない。 ・個人で持っているとは思いますが、全指導員共通ではないと思う。	新版K式KITの備えがあるが、前職で研修を受けた一部職員のみしか検査できないのが現状。少なくともK式に関しては選択式研修などを活用し全職員が検査し結果を活用できるような手立てを講じてもらえるよう本社に要望する。また、WISCのニーズも高いため、例えば東と西に1セットずつ備え、必要に応じて使えるよう本社に要望する。
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・指導員の見立ての差が大きいのは常に課題。 ・保育所などとの連携がとれてきているように思います。	ガイドラインに沿って適切に個別支援計画を作成し、当該計画をベースに具体的な支援を行っている。
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		個別支援計画に沿って適切に支援を行っている。
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	3	0	0	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	・個別療育なので、“チーム”で行うことに抵抗がある場合もある。 ・チームという意識が欠如していると感じるときがある。 ・運動プログラムに関しては、月齢がバラバラで同じ時間のセッションに入ることがあるので、綿密に行っている。	個別支援計画を基本として、毎日のカンファレンスの中で児の情報や保護者の意向等の共有を行い、それを踏まえ担当する指導員が毎回プログラムを作成し、セッションを行っている。それをまたカンファレンスで情報共有等を行い意見を出し合うなど、プログラムを作成するのは一人の指導員だが、その背景にはチームがいる。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	1	75.0%	12.5%	0.0%	12.5%	・なるべく固定化しないように気をつけてはいるが、獲得するまで同じ教材を使用することもある。	固定化しないよう配慮するのは当然だが、目的をもってあえて固定化することもある。
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	1	87.5%	0.0%	0.0%	12.5%		そのような個別支援計画を作成し、プログラムを作っている。
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	3	0	0	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	・個別療育なので、“チーム”で行うことに抵抗がある場合もある。 ・できないときもある。	個別支援が基本であっても、時間と空間を共有する場合は、必要な打ち合わせを行うよう努めている。
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	・個別療育なので、“チーム”で行うことに抵抗がある場合もある。 ・カンファレンスを利用して行っている。	毎日のカンファレンスの中で情報を共有している。
18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・記録はしているが。	支援記録や相談記録の作成を行うことも情報共有の柱と位置づけ徹底して行っている。	
19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		毎日のカンファレンスの中で行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		対象児を最も知る指導員を参加させている。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・連携を拒む指導員がいる。 ・連携を拒む指導員もいて困る。	利用児が通う幼稚園・保育園・相談支援事業所・市教育局などと連携した支援を行っている。
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・連携を拒む指導員がいる。	利用児が通う幼稚園・保育園・相談支援事業所・市教育局などと連携した支援を行っている。
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		これまではニーズがなかったため行っていないが、将来的には小学校などと情報共有や相互理解を図ってきたい。
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	1	0	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%		今年度はコロナの影響で研修会には参加できていないが、市の発達支援コーディネーターの訪問を受け入れ、情報共有を行い助言ももらっている。
	25	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	0	2	0	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%		昨年度は子ども部会に参加したが、今年度は開催されていない。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		振り返りや必要があれば電話相談を行うとともに、個別支援計画の説明の際などに課題の共有化などを行っている。
保護者への説明責任等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%		契約の際に時間をかけて念入りに行っている。
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		ガイドラインに沿って適切に個別支援計画を作成し、保護者にはできるだけ丁寧に説明し、同意をいただいている。
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・悩みを抱える保護者が多いのか、振り返りの時間が不足では？と思います。	毎回の振り返りの時間に、時には振り返りの所定時間を超えて相談に応じ助言を行っている。また、必要があれば保護者単独で来所していただき相談に応じることもある。
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		毎回の振り返りの時間に指導員が相談を受け、緊急性のあるものはその場でスクール長に繋ぎ、緊急性のないものは毎日のカンファレンスの中で対応を話し合い適切に対応している。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	・ブログで発信しているが、利用者にブログが周知されているか分からないのが気になります。	ほぼ定期的にブログを更新している。当スクールは個別支援のため皆で行う活動や行事がないため会報や行事予定表などを作成していない。緊急の連絡などについてはスマホアプリを活用している。
	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		十分注意している。
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		当然配慮している。
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%		マニュアルを整備している。避難訓練は運営規定に則り9月と3月の年2回実施している。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%		利用開始時に確認している。また、アレルギーについては利用開始以降も適宜確認している。
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		行っている。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%		年1回研修会を開催している。